

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2025

4

第39巻4号
(通巻452号)



————— 峡西病院の理念 —————

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

職員研修

行動制限最小化

事業所必須研修として「行動制限最小化」についての研修が行われました。

まず精神科における行動制限とは、①隔離、②身体拘束、③通信（電話など）・連絡制限、④任意入院患者の開放処遇の制限、これらに加えてつなぎ服やミトンの着用、車椅子にテーブルを装着することなども該当します。

これらの行動制限は精神保健福祉法にて精神保健指定医の指示のもとで行われます。しかし、行動制限は個人の自由を奪うものであり本来であれば行うべきものではありません。そのため患者本人や周囲の医療または保護に必要で、代替の手段がなく、必要最低限にすることを条件に行われています。

当院でも行動制限は行われていますが、入院患者に対する隔離の割合では令和5年度において全国では5・2%に対し、当院では0・6%と少なく、過去においても同様です。当法人では行動制限を最小に留めることを目的に行動制限最小化委員会が設置されており、委員会を中心に各部署が行動制限最小化に努めております。今回の研修では前述した説明の後に各病棟や老健で行われているそれぞれ活動について説明が行われました。

アスピール病棟では職員が集まって

話し合いを行い、隔離・拘束となっている患者さんについて意見を出し合いながら終了に向けています。

ブリエ病棟では興奮などによりリスクが高い患者さんに対して施設せず個室で過ごしてもらい落ち着ける環境を提供していくことでリスク軽減を図っています。

フレル病棟では転倒転落リスクのある患者さんに車椅子テーブルを使用していますが、見守りできる時間を増やすことでテーブルを外せる時間を確保しています。

リスタート病棟でも同様にテーブルやミトンなど使用している患者様もいますが、本人の状況を見ながら使用しない時間を少しずつ伸ばしていき終了に向けていけるよう取り組んでいます。

老健では介護保険法により行動制限が原則禁止されており、必要時に行う場合でもカンファレンスを行わないがら早期終了を目指しています。

このように各グループがそれぞれ行動制限最小化に向けて取り組んでいることがわかりました。行動制限は治療上必要となる場面もある一方で、最低限に留めるべきものです。これからも患者様にとって最適な環境について考えながら関わっていきこうと思えます。

新任者研修

入院制度

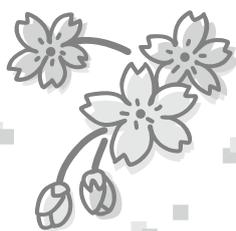
入院制度に関する研修を受講しました。この研修は通年で12回に渡り実施される新任を対象とする研修です。

入院制度のあらましとして、何らかの原因や要因により入院治療が必要な方々を対象に現在では任意入院、医療保護入院、措置入院、応急入院、その他入院とに分類され精神保健法が軸となり管理をされています。しかしその歴史を紐解くと法整備までの道のりは長く、痛ましい事件や事故を繰り返し法律として確立していききました。明治初期では精神医療は進歩しておらず、加持祈祷に頼り、明治33年に精神病者監護法、大正8年に精神病院法、昭和25年に精神衛生法、平成7年に精神保健福祉法と改正を繰り返して現在に至ります。法が改正されることで人権を尊重するようになって来ましたが当初、自己決定権は無きに等しく社会の風土も相まって、その人を取り巻く人々が全てを決め、それに従うしかない状況でした。

当然現在では自己決定を尊重し退院後に社会生活が送れるよう様々な支援が提供できる社会となっております。

私は介護老人保健施設で従事し精神科病院の事は理解していませんでした。しかし本研修を受講することでその一端を見る事が出来ました。我々の仕事は法律に基づき行われています。職種は違えど襟を正し利用者様の人権を尊重し今後も従事したいと思えました。

峡西老健 A・I



令和5年度 目標管理発表会



目標

地域医療への一助として緊急対応枠を活用するケースに対応していく。

目標設定の理由

2021年4月から当院では、「緊急対応枠」を設けてきた。その当番となった医師は原則的に終日予定を空けておき、急な「今日受診・入院させてほしい」といった緊急性の高い受診・入院相談に対応できる体制

を確保していた。

2023年度の病院事業計画では「地域・医療機関との連携を図る」として、関係機関からの年間紹介件数、紹介入院件数の目標値が示されていた。それを達成するためには、地域の関係機関の方々のもとにご挨拶に伺い、日ごろから良好な関係を築いておくことが大切だと考えた。また、その結果として初診当日に入院となるケースに対応する「緊急対応枠」をさらに有効活用し、紹介を受ける件数や入院件数を増やしていきたいと考えた。

方法・実施

① 関係機関への訪問

地域連携室内で分担し、合計113カ所に訪問した。訪問時には、日ごろの関わりに感謝を伝えるとともに、何か峡西病院に対して要望等があればと伺って回った。応対して

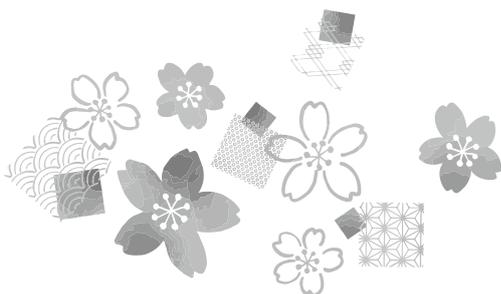
くださった関係者の方々からは「緊急性の高いケースには対応してくれるが、緊急性の無い通常の初診予約が取りづらい」といったお声を頂戴した。引き続きの連携を確認した。

② ベッドコントロール会議

そもそも入院病棟が満床の状態では、緊急対応枠で緊急性の高いケースが受診しても、入院受け入れができなくなってしまう。そのため、効率的なベッドの回転を目指して、8月からベッドコントロール会議を設けた。会議には各病棟リーダーや医師らが参加し、会議当日時点で寄せられている入院相談等を地域連携室から報告し、その方の分のベッドをどのように確保するのかなどを具体的に調整することにした。これまでも電子カルテで記録した患者情報は、関連する病棟リーダーや医師らにも共有していたが、改めて一覧にして相談する場は無かったため、会議時点での入院要請の状況を踏まえて効率的にベッドコントロールできるようになった。

結果

- ・医療機関や介護施設からの新規患者入院件数・・・年間39件
 - ・救急窓口や保健所からの新規患者入院件数・・・年間25件
- 例年と比較し、わずかに入院件数が増加した。引き続き、地域からの要請に応えていけるように体制整備を行っていきたい。



リスタート病棟 病棟レクに向けて

3月の病棟レクリエーションでは患者様・職員共同によるかくし芸会を計画。

職員ピアノ伴奏、患者様ハンドベルで「きらきら星」の演奏を練習しています。職員の合図に合わせてベルを鳴らしたり、一緒に音階を口ずさみながら鳴らしています。集団プログラムの中でも「幸せなら手をたたこう」に合わせて踊りも取り入れ練習中。またレク担当スタッフによる楽器の演奏もあります。何の楽器なのかは当日のお楽しみになっています。

OT・PT だより

私のびんご展 2025

3月13日にレクリエーション委員会が主催する「私のびんご展2025」が開催されました。個人作品や集団で作成した作品が83作品展示されました。また、その内容も様々で手芸、工芸、文芸、書道などが展示され、展示に携わった職員はどうやったたら、それぞれの作品の良さを最大限に発揮できるように展示できるかを考えながら準備を行いました。

当日は患者さん、利用者さん、スタッフ総勢100名以上の方が展示を見に来られ、それぞれ気になった作品にコメントを投票したりしました。こういった日頃の取り組みが展示できるような機会は、年に数回しかないのです。この機会をうまく活用しながら、日頃の活動に活かして頂ければと思います。

リハビリテーション センターだより

今回リハビリテーションセンター（精神科デイケア）を多くの皆さんへ知って頂きたいという気持ちを込めて新しくリハビリテーションセンターのパンフレットを作成しました。

当リハビリテーションセンターの特徴は3つのグループに分かれています。

生活充実型グループ、目標志向型グループ、復職準備型グループがあり、それぞれの目的、特色、プログラムの種類や内容をパンフレットに織り込みました。

パンフレットは当院外来待合室、外来受付横に設置しております。リハビリテーションセンターにもありますので是非ともお越しください。

是非お手にとって見て頂けたら嬉しいです。お待ちしております。



プログラム紹介

目標志向型プログラム 自立生活プログラム

【活動曜日】 毎週木曜 午後

【活動内容】

このプログラムの目的は、「暮らしに役立てることを計画し、体験することです。例えば、調理・余暇時間の過ごし方・趣味活動・リラクセス（癒し）などです。みんなで意見を出し合い、一ヶ月の活動を計画し、実行しています。今まで色々な活動をしてきました。最近の活動を紹介します。

●12月 〈クリスマス会の準備・クリスマス会〉 〈忘年会の準備・忘年会〉

●1月 〈近くの神社へ初詣〉 〈薬膳スープの作り方を調べ、作る〉

●2月 〈節分汁を作る〉 〈スターバックスの限定メニューを注文し、楽しむ〉

みんなで計画し体験することが、楽しみであり、新しいことの開拓や苦手なことにチャレンジ、コミュニケーションの練習になっています。4月も季節に合わせた計画を立てていますので、興味のある方はリハセンまでご連絡下さい。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

【 検索 】 関西病院 リハビリのご案内

ろうけんTimes

TOPICS★

今月の



3F
通所
リハビリ

リハグループ主催の甘酒会が開かれました。雲一つない快晴の中、温か〜い甘酒を堪能しました。前日より仕込んだ甘酒はとても美味しかったです。心身ともに温まりましたか？(*´ω`*)



2F
認知症
専門棟



認知専門棟も同じく、甘酒会に参加されました。甘酒に目がない利用者様がたくさんおり、いっぱい召し上がっておられました。河津桜で一足早い花見酒ですね(*^▽^*)



1F
一般棟



一般棟は、『調理グループ』による恵方巻作りをしました。薄焼き卵を焼いて、彩りよくしっかりと巻いていきました。若い頃の節分の話などをしながら、楽しいひと時を過ごされておりました(*^▽^*)

* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを思い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、Y・Yさんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：正体

(作者：染井為人／出版社：光文社)

●読んだきっかけは？

2022年にドラマ化、2024年11月に映画化され話題になったため、映画を観る前に小説を読みたいと思ったのがきっかけです。

●おすすめのポイントは？

罪もない一家を惨殺した少年死刑囚が脱獄した。顔を変え、名前を変えて逃走する488日を追うストーリーが展開される。逃亡先でいろいろな人に出会い、そこから彼の人物像がみえてくる。深く関わった人たちは、みんな彼が犯人だと信じない。彼の正体はいったい何なのか。それぞれのエピソードがイキイキして面白いです。死刑、介護、低所得者、警察組織、恋愛もありいろいろ考えさせられる小説でした。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。

「私の趣味」、改めて言われるとハードルの高い言葉だが、3人の息子の子育てがほんの少し落ち着いてきた今、私が自分の中で大切にしている時間は①読書②書道③ライブに行くことである。

①については、数か月前から本のサブスクを始め、月に5冊の本を購入している。日々の生活に追われ、月に5冊は難しく、2〜3冊しか読めないが、自分にはない知識や違う世界観に引き込まれる貴重な時間となっている。

②の書道については、小学校以来の習い事で、始めて1年数か月だが、子供の頃とは違い、自分の意志でやり始めたこともあり、週に1回自分に向き合える良い時間となっている。



平日の夜に書道教室に通う事は、息子たちの協力なくしては難しく、その日の夜は、中学生の次男が夕食の支度をしてくれる。男の一品料理だが、なかなかの腕前である。

③のライブに行くについては、独身時代には頻繁に出かけていたが、山梨に来てすっかりご無沙汰だったので、思い切って行ってみると久々の興奮と一流の歌やダンスに触れる感動があった。それ以来、息子同伴で行ったり、夫と行ったりと家族との楽しい時間となっている。

子育てから少し手離れ、すっかり手が離れるその時までには、自分の趣味と言えるものを見つけていきたい。

M

万華鏡

私の趣味は、相変わらず、二人の息子たちを見守ることだ。

長男は、2009年3月に生まれ、現在、高校1年生、音楽部（合唱部）に所属し、生徒会副会長、天然パーマが最高だ。

次男は、2011年6月に生まれ、現在、中学1年生、野球部に所属し、1学年の学年委員長、朝起きるのが苦手なところが最高だ。

長男は、幼い頃から歌が大好きで、

嵐やマイケル・ジャクソン、ミセス・グリーンアップルに夢中だ。音楽部では、合唱コンクールや学園祭で歌を披露し、活躍している所が最高だ。

次男は、小学六年生の時、WBCを観てバスケットが好きだった少年が、野球が大好きになり、中学では念願の野球部に入部し、毎日の練習に励んでいることが最高だ。

二人とも、思春期に入り、時には、反抗的な態度を見せることもある。しかし、それぞれが夢中になれることを見つけ、楽しんでる姿を見ると、父親として本当に嬉しく思うし、最高だ。

長男は音楽（歌）を通して、自分の感情を表現することや、仲間と協力することの大切さを学んでいるようだ。次男は、野球を通して、努力すること

や、チームの為に戦うことの喜びを知ったようだ。それも最高だ。

息子たちの成長は、私にとつて何よりも大きな喜びであり、生きがいだ。彼らがこれからどんな大人になっていくのか、想像もつかないが、彼らが自分の好きなことを見つけ、夢に向かって進んでいくことを心から応援したい。

息子たちと過ごす時間は、私にとつてかけがえのない宝物だ。彼らの笑顔や時には見せる真剣な眼差し、そして、少しずつではあるが成長している姿を見るたびに、私は親としての幸せをのみしめている。

これからも息子たちの成長を見守る趣味を続けていきたい。二人の息子たちは最高だ。

S

こちら編集室

この記事を書いているのは3月中旬で、ニュースでは東日本大震災から14年、と流れています。もう14年も経つのだな、と思いニュースをみています。当時私は高校生でした。同じ年に地元でも震度5強の地震があり地震の怖さを経験しました。地震が起きた時、私は登校途中で駅にいましたが、天井の電気が大きく揺れて落ちてくるのではないかと、恐怖を感じたのを覚えています。

家の中は棚から物が落ちて床が物でいっぱいでした。怪我等の被害はなく、すぐに元の生活に戻りましたが、ニュースで避難生活の事が報道されているのを見て、当たり前前に生活していることがどれだけ幸せなのかを思い知らされました。

自然災害は予想できないことですし、今の環境や生活を大事にしていることと改めて思いました。

みなさまも、同じ事を思っていると思います。改めて家族との時間を大切にできるといいですね☆

今月の予定 4月

- 1日 事業計画説明会
- 2日 外来ケアプロセス会議
- 4日 リハビリテーション部 集合研修
- 18日 働き方創造委員会

今月の一枚



我が家に縁あって来てくれた猫。
 サクラと小春です♡
 春ですね♪ K

おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

友だちや一人いればと桜みて
今福 和人

今日の風に乗り富士山雪多め
大森真知子

春雨や老婆木陰に身をたくし
カナメ

ゆらめきて陽炎色の街並みか
KEIJI S

春風よ妹さんの徳積みか
恵風

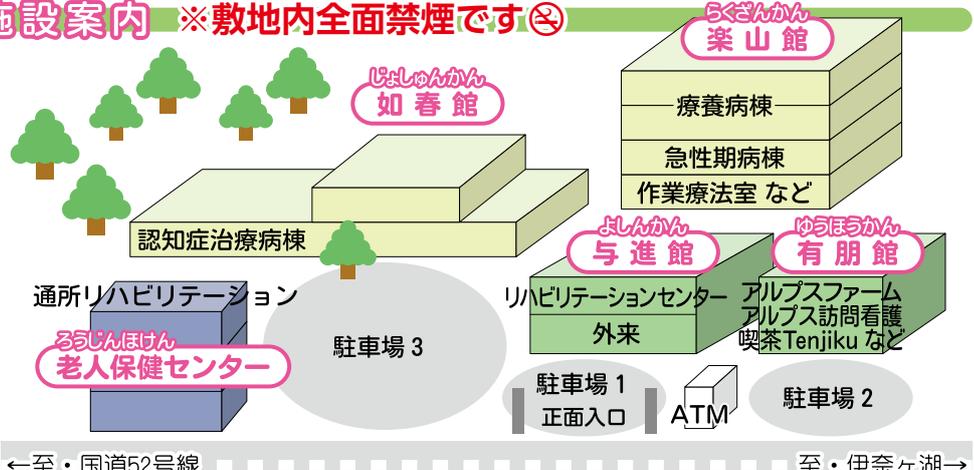
花曇り薄紅色の花咲いて
保坂五十鈴

桜咲く今日の春は夢を見る
渡辺 あき

不が生じても負けない心を育てよう
渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



5ヶせんかん 楽山館
療養病棟
急性期病棟
作業療法室 など

じしんかん 如春館

よしんかん 与進館

ゆふらんかん 有朋館
アルプスファーム
アルプス訪問看護
喫茶 Tenjiku など

認知症治療病棟

通所リハビリテーション

老人保健センター

駐車場 3

リハビリテーションセンター
外来

駐車場 1 正面入口 ATM

駐車場 2

←至・国道52号線 至・伊奈ヶ湖→

交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第452号 1987/9/5創刊 発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
 TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
 URL http://www.nan-zan.or.jp

特定医療法人 **南山会** * 広報委員会 * 川崎洋介、大槻清志、川口 敦、對馬鈴香、河西崇子、雨宮尚登、山岸由佳、清水悠司、相川なつき、金丸彩

次回453号も お楽しみに!

印刷：株式会社 山扇印刷